

Rotary
第2670地区

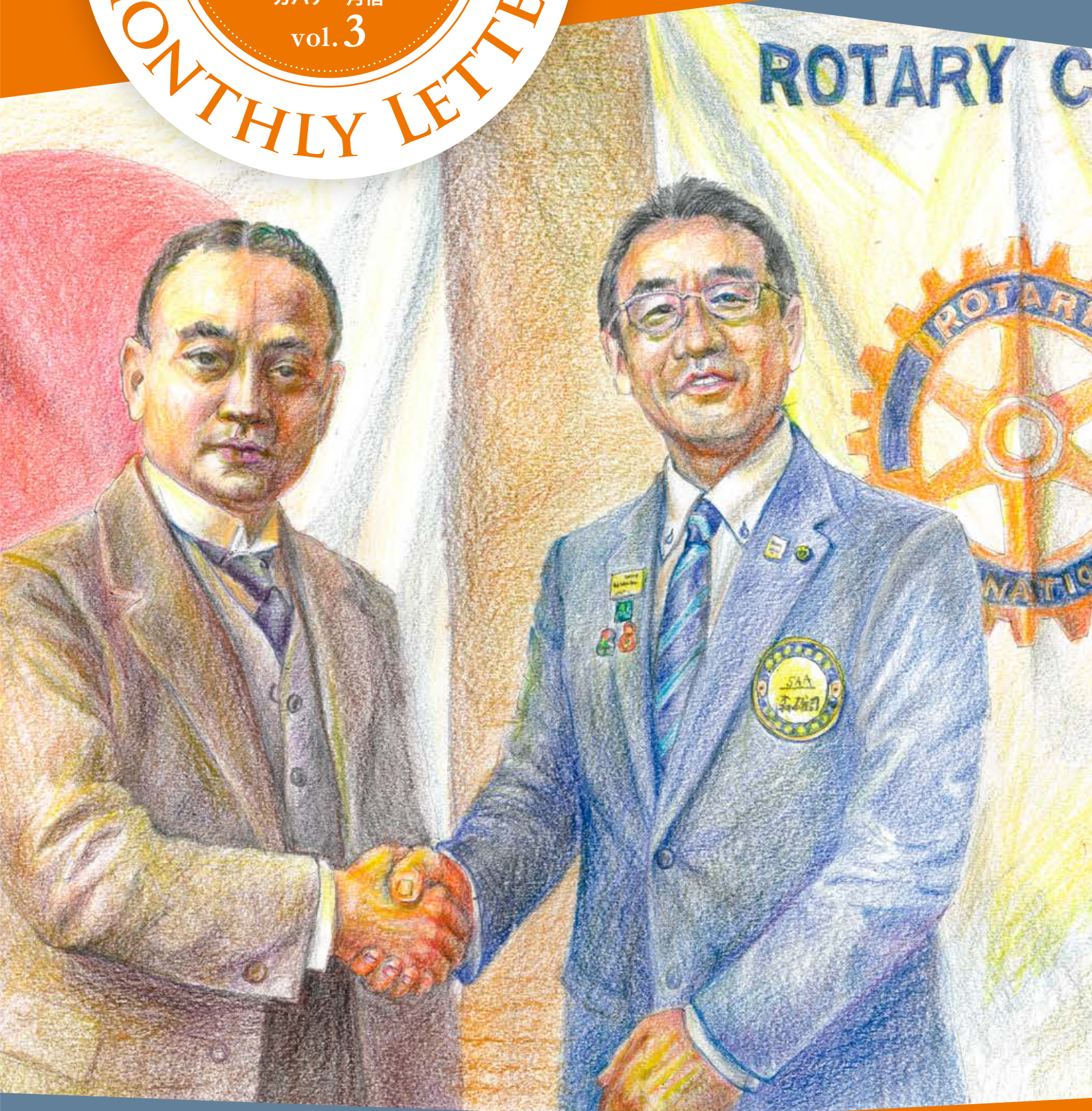


持続可能な
インパクトを
生み出そう



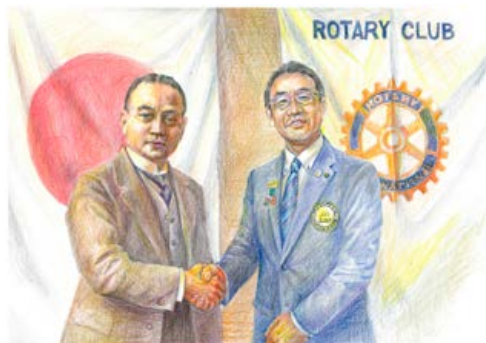
「ロータリーを知り、参加し楽しもう！」
～学び、実践することによりインパクトを生み出そう～

国際ロータリー 第2670地区 2026-2027年度 ガバナー 森 雄司



Rotary International District 2670

ガバナー月信 vol.3
9月号
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



今月の表紙 日本のロータリークラブの祖に会いに行く！

今月は、1920年日本に初めてロータリークラブをつくった東京ロータリークラブ初代会長の米山梅吉氏にお会いしに行きました。

米山梅吉氏は、「奉仕」という考え方を、単なる慈善ではなく、人間の生き方として捉えていた人物です。

現在のロータリーで皆さんが毎月接している米山奨学事業も、米山梅吉氏の功績を記念して始まったもので、1952年、東京ロータリークラブが奨学制度を創設。その後、日本全国のロータリークラブの共同事業へ発展しました。この日本の偉大な先人にお会いできて、改めて「奉仕の精神とは」の原点回帰をして参りました。
(地区会計長：久米 正信)

Contents

ガバナーあいさつ	ガバナー 森 雄 司	3	
バルセロナ国際大会2027・登録のお知らせ		5	
就任あいさつ	行動計画推進リーダー ラーニングファシリテーター	前 田 直 俊 桑 原 征 一	6
	RLI委員会 委員長 ロータリーの友 地区代表委員	大 屋 聡 規 森 澤 慶 一	7
	ロータリー文庫 運営委員 会員増強・維持・退会防止委員会 委員長	二 宮 邦 江 葛 原 明 夫	8
	クラブ奉仕委員会 委員長	泊 健 一	9
	職業奉仕委員会・社会奉仕委員会 委員長 国際奉仕委員会 委員長	高 橋 圭 三 篠 田 日 出 海	10
	青少年奉仕委員会 委員長 ロータリー財団委員会 委員長	門 田 義 仁 米 田 均	11
	米山記念奨学委員会 委員長 ロータリー公共イメージ向上委員会 委員長	石 村 浩 夫 西 松 繁 夫	12
	ガバナー公式訪問報告	香長RC／高知北RC／高知RC／安芸RC／仁淀RC・須崎RC／ 高知西RC／高知ロイヤルRC／中村RC／宿毛RC	13
高知県知事 表敬訪問		18	
[委員会だより]	国際奉仕委員会 長期交換小委員会	第4回 長期交換受入学生オリエンテーション・派遣学生帰国報告会に参加して	19
[委員会だより]	国際奉仕委員会 短期交換小委員会	短期交換愛媛受入報告／フェアウェルパーティー開催報告	20
[委員会だより]	国際奉仕委員会 短期交換小委員会	NJ州のロータリアンより届いた、短期交換派遣学生たちへの心温まるメッセージ	22
[委員会だより]	米山記念奨学委員会	2026-2027年度 香川分区分 米山奨学生卓話研修会を開催して	24
[委員会だより]	青少年奉仕委員会 インターアクト小委員会	インターアクトクラブ年次大会 開催報告	25
[クラブだより]	松山RC	松山近隣ロータリークラブ合同例会	26
7月度 出席報告			27
受賞者一覧			28



GOVERNOR'S MESSAGE

「ロータリー米山記念奨学事業を知ろう！」

国際ロータリー第2670地区 森 雄司
2026-2027年度 ガバナー

雄 司 (松山南RC)



まずは7月28日に発生しました「令和8年 熊本地震」により被災されました皆さまに対しまして、心よりお見舞申し上げます。7月29日には、第2720地区(熊本・大分)の延岡研一ガバナーが「令和8年熊本地震災害支援本部」を設置され、国内他地区に対しガバナー会を通じて支援金の要請を行われました。当地区におきましても7月30日付にて、各クラブの皆さまに支援金のご協力をお願いを申し上げたところでございます。その結果、地区内各クラブより多くの温かいお気持ちが寄せられております。ここに厚く御礼申し上げます。取り急ぎ、8月末時点で地区内よりお寄せいただいた支援金を第2720地区へお送りいたしました。今後につきましても、10月2日までに地区事務所宛にお届けいただいた支援金を、改めて第2720地区へお送りいたします。被災地支援のため、引き続き皆さまのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今月は各分区(各県)にて米山協議会が開催されます。ここで、「ロータリー米山記念奨学事業」について振り返ってみましょう。

「ロータリー米山記念奨学事業」とは、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給し、支援するものです。将来、日本と世界の懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命であり、これは日本のロータリークラブ独自の取り組みとして長く継続されております。

この事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家・米山梅吉氏の功績を記念して発足いたしました。米山氏が亡くなられた後、その偉業を永く偲ぶことのできる事業を創設しようと、1952年に東京ロータリークラブが「米山基金」の構想を発表したことが始まりです。中心となったのは、当時の会長・古澤丈作氏でありました。古澤氏は、「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世

界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くことこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業である」との強い信念を持っておられました。この思いが全国のロータリアンに広がり、「米山基金」はわずか5年で日本全国のロータリークラブの共同事業となり、その後、財団法人を経て、現在の公益財団法人ロータリー米山記念奨学会へと発展しております。

なお、米山梅吉氏は16歳で静岡県沼津中学校を中退し上京、アメリカ留学を志しながら東京英和学校(現・青山学院大学の前身)で学ばれました。そして晩年の70歳には、妻のはる夫人と共に私財を投じて財団法人緑岡小学校(現・青山学院初等部)を創立し、校長として教育に尽力されました。こうした国際的な視野と教育への情熱を顧みますと、米山氏の逝去後にロータリアンが米山基金を設立したことは、まさに氏の遺志を体現したものと強く感じるところであります。

冒頭申し上げましたように、今月は各分区にて「米山協議会」が開催され、今年度の米山奨学生のご紹介と卓話が行われます。是非各クラブの会長様、委員長様におかれましては、クラブ例会に米山奨学生をお招きいただき、その卓話に耳を傾けていただければと存じます。日頃、米山記念奨学会へ寄付をしているその浄財が、彼ら・彼女らのような、将来日本と祖国の懸け橋として活躍するであろう優秀な学生の支援となっていることを改めてご理解いただき、目に見えない支援ではなく、目に見える支援として実感を持っていただけの機会となれば幸いです。

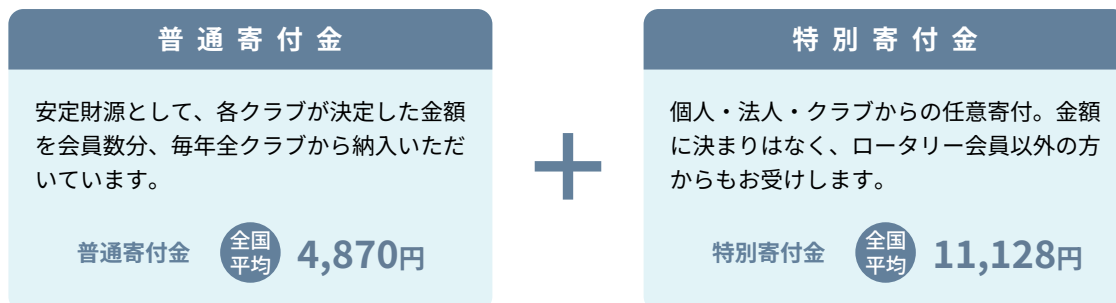
米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇る「人づくり」の奉仕です。未来を担う若者への支援は、必ずや平和で持続可能な社会の実現につながります。当地区としても、引き続き事業の発展に力を尽くしてまいりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

参考資料 ロータリー米山記念奨学会・寄付について

※ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典より
(2025-2026年版)

寄付の種類

米山奨学会への寄付は2種類です。この事業は皆さまからの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まりますので、継続的なご支援をお願いいたします。



なぜ普通寄付が必要なのか

当事業は、毎年いただく寄付金だけで成り立っています。特別寄付金は任意寄付なので、年間約900人にのぼる奨学金の安定財源として普通寄付が必要です。また、1967年に財団法人の認可を申請した際、普通寄付金による一定収入が見込めると文部省(当時)を説得し、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があるためです。

寄付に対する表彰制度

米山へのご寄付は個人・法人・クラブそれぞれに累積し、一定金額に達した時点で表彰させていただきます。「達成クラブ」以外はすべて特別寄付が対象です。

※2023年7月改定

■個人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に)第2回～9回米山功労者マルチプル	感謝状+50万円のみピンバッジ(銀)
100万～390万円	第10回～米山功労者メジャードナー	感謝状+100万円毎にピンバッジ(金)
400万円～		感謝状+100万円毎にクリスタル盾

※累計10万円以上は10万円ごとに感謝状を贈呈します。加えて、累計50万円以上は銀色のピンバッジ、100万円以上は100万円ごとに金のピンバッジ(400万円以上はクリスタルの盾)が贈られます。

■法人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円～	(以降100万円毎に)米山特別功労法人	感謝状と盾

■クラブへの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
1000万円毎	達成クラブ	感謝状
—	クラブ創立記念特別寄付	盾(10万円以上の場合)

※「米山功労クラブ」はクラブ扱い・個人・法人すべての特別寄付金が対象

※「達成クラブ」は普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象



バルセロナ国際大会2027・登録のお知らせ

バルセロナ国際大会2027(2027年6月26日～30日)の登録および登録料について詳細が発表されました。
2026年9月17日よりMy ROTARYサイトにて登録が開始されます。9月17日～21日の5日間は早期割引料金にて登録可能です。この機会に是非、バルセロナ国際大会2027にご登録ください。
皆さま、バルセロナでお会いしましょう！
※My ROTARY登録方法については「ガバナー月信8月号」をご参照ください。



**BARCELONA
2027**

RIバルセロナ 国際大会 2027

世界とつながる、
バルセロナへ。

 **2027年6月26日～30日**  **バルセロナ・スペイン**

 **会場：Fira Barcelona Gran Via**

登録料

	2026年9月17日～21日 5日間限定・早期割引	2026年9月22日～ 2027年3月31日	2027年4月1日～ 6月30日
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（31歳以上）	US\$595	US\$795	US\$895
クラブ会員、会員以外の方、 または同伴者（30歳以下）	US\$250	US\$350	US\$400
5～18歳の同伴者	US\$20	US\$30	US\$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料

RIバルセロナ国際大会 推進チーム

推進チームメンバー

出村 知佳子 | chikakodemura@gmail.com

日本チーム

第1地域 佐渡 正幸
RID2500・銅路北ロータリークラブ

第2地域 中川 雅雄
RID2580・東京浅草ロータリークラブ

第3地域 大橋 秀典
RID2660・東大阪東ロータリークラブ



大会登録・詳細 | <https://convention.rotary.org/ja-jp/registration>

就任あいさつ



行動計画推進リーダー

前田 直俊

(坂出東RC)

このたび、2026-2027年度 国際ロータリー第2670地区行動計画推進リーダーを拝命いたしました。誠に光栄に存じますとともに、その使命と責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

本年度の地区ガバナーメッセージは、「ロータリーを知り、参加し楽しもう！」～学び、実践することによりインパクトを生み出そう～であります。この言葉には、ロータリーの理念と価値を深く「知り」、自ら進んで活動に「参加」し、仲間とともに奉仕する喜びを「楽しむ」。そして、その学びと実践を、地域社会や世界をより良く変える確かなインパクトへと結びつけていこうという、力強い決意が込められているものと考えております。

ロータリーの行動計画が掲げる四つの優先事項は、決して理念にとどまるものではありません。大切なのは、それぞれのクラブが歴史と伝統を大切にしながら、時代の変化を捉え、自ら考え、自ら行動することです。その一步一步の実践こそが、クラブの活力を高め、第2670地区の未来を拓く原動力になるものと確信しております。

地区行動計画推進リーダーとして、皆様とともに学び、ともに考え、ともに行動し、ロータリーの新たな可能性を拓いてまいりたいと存じます。

「ロータリーを知り、参加し楽しもう」。学びを実践へ、実践をインパクトへ。

この思いを皆様と共有し、より魅力と活力に満ちた第2670地区の実現に微力ながら尽力してまいります。一年間、皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



ラーニング
ファシリテーター

桑原 征一

(新居浜RC)

このたび、2026-27年度 RI第2670地区のラーニングファシリテーターを拝命いたしました、新居浜ロータリークラブの桑原征一でございます。

皆さまにとっては、まだ聞き慣れない役職名かもしれませんが。ラーニングファシリテーターとは、会員一人ひとりがロータリークラブや地区、さらには各種プロジェクトのリーダーとして活躍できるよう、必要な知識やスキルを高める学びの場を支援する役職です。

以前は「地区研修リーダー」と呼ばれていましたが、現在は「ラーニングファシリテーター」と名称が変更されています。その役割は、一方的に知識を教えることではありません。参加者同士が対話やディスカッションを通じて理解を深め、互いの経験や知識、スキルを分かち合いながら学びを進められるよう導くことにあります。

本年度、森ガバナーは「ロータリーを知り、参加し、楽しもう！」を地区方針として掲げられています。そして、学びと実践を通じてインパクトを生み出していこうと提唱されています。

私もこのガバナー方針のもと、ガバナー補佐の皆さまをはじめ、地区役員・委員の皆さまと力を合わせ、共に学び、共に成長しながら、より楽しく魅力あるロータリーづくりに尽力してまいります。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。



就任あいさつ



R L I 委員会

委員長

大屋 聡規

(坂出東RC)

RLI委員会は第2670地区において2024-2025夏見ガバナー年度より新たに地区組織に組み入れられました。RLIは『Rotary Leadership Institute』、和訳『ロータリー・リーダーシップ・研究会』の略で、定義は「質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、多地区合同のリーダーシップ開発プログラムを提供する組織」としています。

RLI日本支部には国内34地区のうち29地区が加入(加入率88%)しており、第2670地区は遅れること29番目の参加地区としてRLI日本支部に加入しました。

昨今の国際ロータリーは大きく変化しており、ロータリー活動においては柔軟性を推奨するようにもなりました。ある意味動きやすいクラブまた地区運営が可能になった半面、そこにはロータリーの基本理念などベースにあるものを見失うことなく運営していくことが求められます。そのためにはロータリアンとしての個々の『深いロータリー知識と、リーダースキル』を習得し、互いの議論の中で『文殊の知恵』を引き出しあうことが必要となります。そのためのプログラムや技法を提供するのがRLIの立ち位置となります。

今年度から本格的に、第2670地区内においてすべてのセミナーがこのRLI技法に準じた『ラーニング形式』で開催されるようになりました。これまで講師が一方的に講義を行ってきたようなトレーニング形式(授業型)ではなく、ファシリテーターのリードによる参加者主導型のラーニング形式のセミナーです。

『クラブ活性化セミナー』、『PELS(IHPETS)』、『DTLS(IHDTTS)』等、あらゆるセミナーにおいてラーニング形式を取り入れていきますので、皆様にはご理解また積極的な参加をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



ロータリーの友

地区代表委員

森澤 慶一

(松山南RC)

このたび、森雄司ガバナーよりご拝命を賜り、ロータリーの友地区代表委員を務めさせていただくこととなりました。微力ではございますが、地区の皆さまと『ロータリーの友』をつなぐ架け橋となれるよう、精一杯努めてまいります。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー(RI)の方針や活動を知るための機関雑誌であると同時に、全国各地のクラブやロータリアンの活動、思い、そして地域に根差した奉仕の姿を知ることのできる貴重な情報誌です。私自身、さまざまなクラブの歴史や活動、その背景にある会員一人ひとりの思いやストーリーに触れる記事に、『友』ならではの大きな魅力を感じています。

地区代表委員の役割は、『友』の魅力や購読する意義を地区内の皆さまにお伝えするとともに、地区内で行われている特色ある奉仕活動や、クラブ・会員の素晴らしい取り組みを編集部へ届け、全国のロータリアンへ発信していくことに考えています。

本年度はクラブ会長という立場でもありますので、まずは自クラブにおいて『友』をより身近な情報源、そして楽しみに読んでいただける読み物として活用し、その魅力を広めていきたいと思っております。また、地区内の各クラブにも目を向け、そこにある素晴らしい活動や物語を一つでも多く発掘し、発信につなげてまいります。

『ロータリーの友』を「読む」だけでなく、「学び、行動し、そして発信する」ための媒体として、皆さまとともにその魅力を高めていければ幸いです。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

就任あいさつ



ロータリー文庫

運営委員

二宮 邦江

(高知ロイヤルRC)

この度ロータリー文庫運営委員を拝命いたしました、高知ロイヤルロータリークラブの二宮邦江と申します。

当委員会は全国から委嘱されました運営委員9名及び監査委員・顧問を含めた計13名で構成されております。当地区からは2014～16年度に亀井義弘パストガバナーが務められて以来実に12年ぶりの委員選出となり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

ロータリー文庫は国内外のロータリーに関する貴重な書籍や文献などの資料を収集・保管し、会員の皆様の学びや研究にお役立ていただくためのものです。2万点を超える膨大な収蔵資料は、2023年に全ページのPDF化が完了し、現在はAI活用も見据えた電子図書館へと大きな変化と刷新の時を迎えております。

先日6月23日の委員会に初めて出席し、その先進的な歩みを強く実感いたしました。このような節目の時期に携わらせていただくことを大変意義深く感じています。そして森雄司ガバナーの「ロータリーを知り、参加し楽しもう！」というテーマの一助となるべく、精一杯務めてまいります。

一人でも多くの皆様にロータリー文庫の素晴らしさを広め、日々の活動や案内に存分にお役立ていただけるように尽力してまいりますので、3年という任期ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。



会員増強・維持・ 退会防止委員会

委員長

葛原 明夫

(小松島RC)

今年度(2026-2027)第2670地区の会員増強・維持・退会防止委員会 委員長を務めさせていただく、徳島第1分区ガバナー補佐 葛原明夫です。ガバナー補佐は分区各クラブ持ちまわりで、今年度は小松島ロータリークラブが当番クラブです。小松島ロータリークラブは、もうすぐ75周年を迎える徳島県では二番目に古いクラブですが、小松島市自体の人口の減少、有力企業もない、イメージとしては、金銭的余裕のある人が少ないそんな感じです。私が入会した25年前と比べると、半減どころか6割の15名しかおりません。そんな中で、クラブの長老から命じられ、ガバナー補佐をお受けしました。

ガバナー補佐になって、早1ヶ月が経過しました。去年の夏ごろにガバナー補佐になることに決まり、年末から年始そしてガバナー補佐に就任するまでの間に、前年度ガバナー補佐である泊 健一氏と行動を共にすることが増えました。

ある時、泊補佐から「地区の会員増強の仕事をお願いできませんか」と言われました。会員増強委員会は、社会奉仕あるいは国際奉仕そして職業倫理などと比べてイメージがわかなく(すぐにさけることがわかる)委員会ですので、「いいですよ」と軽く返事をしてしまいました。後で第2670地区全体の委員長とわかり、愕然としました。そんなことができるはずがない、ガバナー補佐として史上最低のそれに向けて絶賛邁進中なの…。

が、泣き言をいっても仕方ありません。私にはバイブルがあります。群馬県高崎ロータリークラブ田中久夫氏著「ロータリークラブに入ろう」です。今年4月27日から28日に横浜で開催されたセミナーで、田中久夫氏の講演を聞き、合間に2、3分ですが話をし、サインも頂きました。「ロータリークラブに入ろう」の巻頭に、「さあ皆さん ロータリーの扉を開けよ、そしてロータリーを楽しもう。一度きりの人生ロータリーに迷ってみるのも悪くない。」この気概をもって、委員長職を全うしたいと考えます。



就任あいさつ



クラブ奉仕委員会

委員長

泊 健一

(徳島RC)

このたび、国際ロータリー第2670地区クラブ奉仕委員長を務めさせていただくことになりました。72クラブの皆さまと力を合わせ、一年間しっかりと務めてまいりたいと思います。

ご案内のようにクラブ奉仕はロータリーの樹の根の部分です。



この基礎となる根として私がクラブ奉仕委員長として掲げたいテーマは、

「カッコいい大人が集まり、仲間が増え、地域を元気にする。そんな楽しいロータリークラブを増やしていく。」

です。

ロータリーには、仕事に誇りを持ち、地域を大切に、誰かのために行動できる、魅力ある「カッコいい大人」がたくさんいます。私は、そんな人たちがもっとロータリーを楽しみ、互いに刺激を受け、新しい仲間と出会いながら活動できるクラブを増やしていきたいと考えています。

クラブ奉仕の原点は、まず「クラブを元気にすること」ではないでしょうか。例会に行けば仲間に会える。仲間と語り合えば、新しいアイデアが生まれる。「次はこんなことをやってみよう」と、自然に行動したくなる。そんな楽しいクラブには、自然と人が集まります。

楽しいクラブだから仲間が増える。

仲間が増えるから新しい奉仕が生まれる。

その奉仕が地域を元気にする。

私は、森ガバナーのいわれるこの好循環を第2670地区全体に広げていきたいと思っています。そのためには、クラブ同士がそれぞれの成功事例やアイデアを共有し、お互いに学び合うことも大切です。地区クラブ奉仕委員会として、各クラブの個性や伝統を尊重しながら、それぞれの「良さ」をさらに伸ばすお手伝いをしています。そして、地域の方々、特に次の世代を担う若い人たちから、

「ロータリーって楽しそうだな」

「ロータリーにいる大人って、カッコいいな」

「自分もあの仲間に入りたいな」

と思ってもらえるロータリーを目指したいと思っています。

会員増強も、クラブの活性化も、すべての出発点は「人」だと思います。人が輝けばクラブが輝き、クラブが輝けば地域が輝く。

「カッコいい大人が集まる、楽しいロータリー。」

この言葉を胸に、第2670地区の皆さまと一緒に、もっと楽しく、もっと魅力あるロータリークラブをつくってまいります。

一年間、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

就任あいさつ



職業奉仕委員会・ 社会奉仕委員会

委員長

高橋 圭三

(東予RC)

このたび、国際ロータリー第2670地区において、職業奉仕委員会ならびに社会奉仕委員会の委員長を拝命いたしました、愛媛第Ⅰ分区分区ガバナー補佐の高橋圭三です。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

ロータリーは1905年、アメリカ・シカゴでポール・ハリスによって創設されました。多様な職業の人々が集い、親睦を深め、信頼を育むことから始まったこの組織は、やがて社会への奉仕を实践する団体へと発展していきました。1907年には、公衆トイレの設置という初期の奉仕活動が行われ、1917年にはロータリー財団の礎が築かれました。さらに、四つのテストはハーバート・J・テイラーによって起草され、1943年にロータリーに採択されて以来、今日まで私たちの行動の指針として受け継がれています。

その後、ロータリーは青少年育成、水と衛生、疾病予防、教育支援、地域社会の発展、そしてポリオ根絶など、地域から世界へと奉仕の輪を広げてきました。こうした歩みの原点にあるのは、例会で出会い、語り合い、互いを理解し合う中で、それぞれが自らの仕事に誇りを持ち、その力を社会に役立てていこうとする心だと思っています。ロータリーの魅力は、親睦と奉仕が別々ではなく、しっかりと結びついているところにあります。

これから一年、職業奉仕と社会奉仕の意義を皆さまとともに確かめ合いながら、実りある活動につなげてまいりたいと存じます。ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



国際奉仕委員会

委員長

篠田 日出海

(高松南RC)

7月2日～22日の青少年短期交換プログラムで、RID7475(米国ニュージャージー)からの交換高校生受入でのおもてなし、およびホストファミリーとしてご協力戴いた各クラブおよび会員の皆様に、衷心よりお礼申し上げます。

当委員会は、青少年長期交換プログラム、青少年短期交換プログラム、および国際奉仕プログラムを管掌しております。

皆さんご存知の通り、青少年(長期/短期)交換プログラムでは、若者達の“国際理解・親善・平和”の推進を目的にしております。

長期交換プログラムは1年間の交換プログラムです。前年度は米国と豪州(オーストラリア)へ各1名の高校生を派遣および受入をしました。今年度は7月から豪州へ1名の派遣と1月から1名の受入のプログラムを開始しております。

短期交換プログラムは、前述の通り7月2日から3週間RI7475地区より高校生9名を受入れ、また7月30日から当地区の高校生20名をRI7475地区へ3週間派遣しました。

なお、青少年(長期/短期)交換プログラムは、地区のプログラムとして国際ロータリーから認定を受けています。従ってクラブ独自で青少年交換プログラムを行うことは、国際ロータリーより強く禁止されています。クラブ独自で青少年交換プログラムを行う場合、クラブ会長は地区ガバナーと覚書(MOU)で「同意と承認」を交わして、実施しなければならないことをご承知おき下さい。

次に、前年度まで国際奉仕ファンド小委員会が国際奉仕ファンド活用プログラムを行っていましたが、基金が底を突いたため、休会となっております。従って当ファンド小委員会が担当していました「世界寺子屋運動」等の国際奉仕プログラムは、国際奉仕委員会が担当することになっています。

青少年交換プログラムを含む国際奉仕委員会のプログラムを通じて、会員および家族が共に国際理解・親善に寄与し、平和な世界、幸せな世界が広がることを希望しております。これからも国際奉仕活動へのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



就任あいさつ



青少年奉仕委員会

委員長

門田 義仁

(仁淀RC)

2026-2027年度青少年奉仕委員会委員長を拝命いたしました、仁淀ロータリークラブの門田義仁です。1990年に仁淀ロータリークラブの創立メンバーとして入会いたしました。1995年には明徳義塾高校インターアクトクラブを設立し、提唱クラブの一員として活動しています。またインターアクト地区委員として10数年、青少年活動について学ぶ機会をいただきました。

今年度の森ガバナーのメッセージは、「ロータリーを知り、参加し楽しもう！～学び、実践することによりインパクトを生み出そう～」です。今年度青少年奉仕委員会は、学び実践する組織へと変わります。

青少年奉仕委員会はインターアクト小委員会、ロータリーアクト小委員会、ライラ小委員会、新世代小委員会の4つの小委員会で構成されています。青少年奉仕はロータリーの5大奉仕の一つであり、将来を担う若い世代が問題意識を高め、世代や境遇の異なる人と交流する中で、多様な視点で物事をとらえ、積極的に行動するリーダーを育てる奉仕活動です。

それぞれの委員会が長年培ってこられた事業は、十分な成果も出され今日まで続いています。今後も充実した委員会活動を継続していくために、各委員長を青少年奉仕副委員長として、正副委員長会で情報を共有し、縦横の連携を密に取りながら委員会活動をより充実したものにしたいと考えています。会員の皆様には青少年奉仕活動に益々のご理解とご支援をお願いします。

一年間よろしく願いいたします。



ロータリー財団委員会

委員長

米田 均

(さぬきRC)

本年度ロータリー財団委員会委員長を拝命いたしました、さぬきロータリークラブの米田でございます。

ロータリアンの皆様方には日頃から財団に対し格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組む貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成することです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、よりよい世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらすために役立てられています。

2026-2027年度 地区目標

- ・寄付ゼロクラブ(年次基金) 0達成 3月末目標
- ・年次基金 150ドル/人
- ・ポリオプラス 30ドル/人
- ・ポリオプラスソサエティ 新規加入50名以上
- ・ポールハリスソサエティ(毎年1000ドル)への入会 5名以上
- ・恒久基金 冠名基金2.5万ドル 1件以上
- ・大口基金1万ドル 2件以上
- ・ベネファクター 新規10名以上

ロータリー財団は難しく捉えられておりますが、皆様方にご寄付頂いたものはポリオをはじめとする国内外で行われている、ロータリーの世界でよいことをする為の活動に使用されており、当地区やクラブでの補助金ともなり、事業や奨学生にも活用されております。

本年も地区内皆様方のお力をお借りして、早め早めの目標を達成して参ります。

皆様方も自ら学び、実践することによりインパクトを生み出しましょう！

ロータリー財団委員会にお力添えの程、宜しくお願い致します。

就任あいさつ



米山記念奨学委員会

委員長

石村 浩

(川之江RC)

本年度、米山記念奨学委員長を拝命いたしました川之江RCの石村浩です。ロータリークラブ会員の皆様には、日頃より米山記念奨学事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

2026年12月4～5日、台湾の宜蘭県礁溪郷にて米山学友世界大会「愛in台湾」が開催されます。第1回大会は2017年、震災間もない熊本で「復興の力に少しでもなりたい」という学友の熱い思いから始まりました。その後、モンゴル、つくばを経て、コロナ禍で延期となっていた台湾大会が、2024年「花蓮地震」の被災地に近い宜蘭県で「冬戀蘭陽温泉季」に合わせて開催されます。

米山記念奨学会は、日本のロータリーの祖である米山梅吉氏の遺徳を偲び、古澤丈作氏が創設した想いを受け継ぐ事業です。皆様からの寄付金を財源とし、日本に在留する外国人留学生へ奨学金を支給しています。ロータリアンとの心の交流を通じて「日本の精神」を理解し、「日本と世界を結ぶ架け橋」となる優秀な人材を育てる、日本独自の民間国際人道事業です。

「米山学友は宝である」——この言葉は、故・小沢名誉理事長が残されたものです。そして、その宝を育み生み出すのは、会員の皆様であり、「カウンセラー」と「お世話クラブ」に他なりません。奨学生を例会やクラブ事業に招くことは、皆様にとっても直接的な国際奉仕を体験し、クラブが活性化する素晴らしい好機となります。当委員会も全力でサポートいたしますので、2027学年度に向けて、ぜひ多くのクラブで前向きにご検討いただけますようお願い申し上げます。

「Pay it forward(ペイ・フォワード)」

将来、日本と世界を結ぶ架け橋となり、次の世代へ恩返しができる人になっていただきたい。——「寄付」という金銭的支援のみならず、「心の通う交流」こそが、お預かりした奨学生への最高のプレゼントになります。皆様の温かいご指導とご協力を、心よりお願い申し上げます。



ロータリー公共イメージ 向上委員会

委員長

西松 繁夫

(松山南RC)

本年度地区の公共イメージ向上委員会の委員長を拝命いたしました西松と申します。まずもって、地区の各委員会活動や各クラブ運営を通して、地域の貢献活動に努めていらっしゃる皆様方に心より敬意を表します。ロータリークラブの活動として、地区の青少年を主体とした貢献活動、また各クラブにおかれましても独自の貢献活動を長年にわたり、また継続的に素晴らしい活動が行われていると思います。ただ現状として、それらの活動がどれほど地区の各クラブの会員の皆様方に共有され、各クラブの地域の皆様方に知られている事でしょう。素晴らしい活動の数々を会員の皆様方がどう情報共有し、地域の皆様方にどう知って頂くか、そのテーマは歴代の当委員会の委員長や委員の皆様方のご苦勞されていたことだと思います。それを引き継ぎながら、新しい周知方法である「ストーリーテリング」を地区に普及することを第一の方針として取り組んでいきたいと思っています。ストーリーテリングとは、【ロータリークラブの素晴らしい活動をただ情報として伝えていくのではなく、会員一人ひとりの奉仕体験や心動かされるエピソード(物語)を通じて、ロータリーの価値や活動の本質を社会に分かりやすく伝える広報・啓発手法です。抽象的な活動報告ではなく「個人の体験談」として語ることで、共感や理解を深める重要なアプローチとされています。】その各活動においては「喜び」や「感動」や「学び」などを伴ったストーリーが存在しているはずで、そのストーリーを交えながら伝えていくのが「ストーリーテリング」です。現在「ストーリーテリング」キャンペーンも開催されております。より多くの方々にキャンペーンに参加して頂ける仕組みづくりに取り組むことを含めて、地区の各委員会や各クラブの皆様方のご協力を賜りながら、今年度「ストーリーテリング」の普及、定着に努めて参ります。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問報告

GOVERNOR OFFICIAL VISIT REPORT

2026
7/21
[TUE]

香長RC

サザンシティホテル

クラブ紹介 会長 植田 誠司 幹事 岡本 憲

会員10名という少人数クラブですが、当クラブ五つ目のテストである「地域の為になるかどうか」を念頭に置き、継続事業である保育園・幼稚園への絵本寄贈、物部川の清掃活動、月見山レッドウッドの保全活動を実施しています。
本年度に創立50周年を迎えますので、限られた例会の中で進めてまいります。



随行者コメント

香長RCは、サザンシティホテルが例会場の、創立49年の歴史あるクラブです。会員数10名と少人数ですが、香長RC独自の5つのテストを作られるなど、本当に地域のためになるかどうかを実践されているクラブだと感銘を受けました。

メンバーはベテランの年長者が多い中、植田会長の男女を問わず、広く会員の拡大をしていきたいという前向きな方針も、持たれておりました。

クラブの活動として、南国市・香美市・香長市の保育園・幼稚園に毎年「絵本の寄贈」や、地域を流れる一級河川「物部川」河川敷の清掃美化活動を行い、国土交通省のラブリバーパートナーシップになっておられます。

また、香長市月見山自然公園内に1970年頃アメリカ・カリフォルニア州ロスアルトRCのBowen判事から東京RC G.S.Eに国際親善のために寄贈されたレッドウッドの苗を一部移植し、保護管理を長きにわたり行われております。春には公園内の桜の下でお花見例会を行うなど、地元に密着した活動をされております。

森雄司ガバナーの地区スローガン「ロータリーを知り、参加し楽しもう！」を、自分らしく、もっともっといろんなクラブの方々と親睦を深めれるよう実践してまいります。

執筆・随行者：寺川 洋史(松山南RC)
随行者：加藤 秀章(松山南RC)

2026
7/27
[MON]

高知北RC

三翠園

クラブ紹介 会長 岡崎 秀悟 幹事 水田 臣哉

高知北RCは1981年に創立、44年間歴史を積み上げてきた伝統あるクラブです。創立時21名から始まり現在では37名の会員で国際社会への貢献を目指し、現在でも一業種一会員制を守り幅広い専門知識で多様な視点からの活動を展開する事で会員同士の親睦を深め出席率向上、会員増強に繋がるクラブ運営を目指しています。



随行者コメント

ガバナー公式懇談会では、森ガバナーからのご質問に対し、岡崎会長がクラブの特色や現状について丁寧に説明くださり、有意義な意見交換が行われました。また、森ガバナーからは、来年度開催予定の地区大会への登録・参加について力強い呼びかけがありました。

高知北RC様は、2001年と2005年にガバナーを輩出された歴史と伝統あるクラブです。その歴史に培われた風格と、会員の皆様の活気あふれる雰囲気が大変印象的でした。中でも最も心に残ったのは、例会開始時の歓迎です。松山南RCでは、通常、指定された席へ案内されますが、高知北RC様では、例会開始時刻になると会員の皆様の盛大な拍手に迎えられ、まるで結婚披露宴で新郎新婦が入場するかの

ように会場へ案内していただきました。思いがけない歓迎に少し照れくささもありましたが、その温かなお心遣いに深く感銘を受けました。

その後の例会では、森ガバナーによる卓話が行われました。クラブの歴史や特色を十分に踏まえた内容で、事前の綿密な準備とクラブへの深い理解がうかがえる、大変充実した卓話でした。最後に全員で記念撮影を行い、終始温かなおもてなしの余韻に浸りながら高知の地を後にしました。高知北RCの皆様の心温まるご歓迎とご厚情に、心より感謝申し上げます。

執筆・随行者：久保 智(松山南RC)
随行者：有光 智幸(松山南RC)

ガバナー公式訪問報告

GOVERNOR OFFICIAL VISIT REPORT

2026
7/28
[TUE]

高知RC

三翠園

クラブ紹介 会長 藤田 徹也 幹事 武樋 泰臣

1937年に日本で33番目に誕生した高知RCは、2027年に創立90周年を迎えます。現在(2026年5月)82名が在籍し、「燦燦基金」による大学生支援など独自の奉仕活動にも力を注いでいます。クラブの雰囲気は非常に和気あいあいとしており、アットホームな交流を大切にしています。



随行者コメント

森雄司ガバナーの公式訪問に、富永会員とともに随行し、高知第Ⅱ分区の高知RCを訪問いたしました。今回の公式訪問で特に印象に残ったのは、例会場への入場の場面です。森ガバナーと随行者である私たちを、ピアノの生演奏と会員皆様の温かい拍手でお迎えいただきました。まるで結婚式の入場のような、格式と温かさを兼ね備えた設えに深く感銘を受けました。

また、開会の歌として「四つのテスト」の歌を歌われていること、藤田徹也会長の本年度スローガン「Happy Tuesdayからはじめよう!」を体現するように、ご挨拶の冒頭で、映画がとても好きな森ガバナーにちなんで3択クイズが行われたことも印象的でした。公式訪問の緊張感の中にも会場に笑顔が広がり、自然なアイスブレイクとなっていました。森ガバナーの卓話では、高知RCの歩みに触れながら、ロータリーを知り、参加し、楽しむことの大切さを改めて感じました。例会全体を通じて、訪れる人を温かく迎え、自然に笑顔にする高知RCの魅力に触れることができた公式訪問となりました。

執筆・随行：佐古 英樹(松山南RC)
随行：富永 良紀(松山南RC)



2026
7/29
[WED]

安芸RC

ホテルTAMAI

クラブ紹介 会長 佐藤 正 幹事 小松 亮

1962年5月創立、高知県内では3番目、第2670地区内では21番目のクラブとなります。会員数は現在20名の少数ではありますが、これまでの事業を継続し、地域に貢献します。〈地域の人々に愛されるロータリーをめざして〉

- アジサイの手入れを通して市民に喜んでいただく、また、活動の一端を知っていただく。
- 少年サッカー大会の開催において、ロータリーを広くアピールする等、より地域へ外向き、さらに会員増強に努めていく。



随行者コメント

安芸RCは、1962年5月に高知県内では3番目のクラブとして創設された歴史と伝統のあるクラブです。稲田ガバナー補佐、佐藤会長、野町次年度会長、石建副幹事と和気あいあいの中にも真剣な会長・幹事懇談会が行われました。

現在の会員は20名ながら女性会員は3名おられます。会員の高齢化や会員増強時の地元ライオンズクラブとのバッティング等で増強は難しい状況ですが、一時18名まで減った会員を現在20名で維持されています。会長の本年度テーマ「地域に愛されるロータリーを目指して」の通り、少年サッカー大会、紫陽花の植栽管理維持など毎年素晴らしい地元密着の事業を継続実施されています。また、友好クラブである台湾花蓮RCとの連携を密に様々な学びをされています。例会は、佐藤会長の優しいお人柄のにじみ出たアットホームな例会運営でした。例会場には、創立45周年を機に元々あった「安芸RCの歌」を復活された中川会員の思いが掲示されていました。温かいおもてなしありがとうございました。

随行：塩出 卓一(松山南RC)





ガバナー公式訪問報告

GOVERNOR OFFICIAL VISIT REPORT

2026
7/30
[THU]

仁淀RC・須崎RC

📍 亀の井ホテル 高知

クラブ紹介

仁淀RC

会長 尾崎 香理 幹事 西川 健二

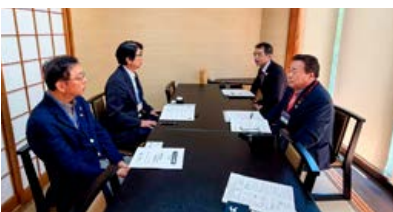
当クラブは土佐市、春野町、いの町、日高村、佐川町、越智町、仁淀川町など名前の由来通り仁淀川流域をテリトリーとする創立36年の小規模、精鋭のクラブです。人数は少数ですが市内8クラブ合同夜間例会での余興などでもカラオケ、イントロ当てクイズ、利き酒などで連続優勝するなど、各々のキャラクターが楽しく個性的なメンバーです。少数ならではの、チームワーク仲の良さが自慢です。



須崎RC

会長 高橋 和久 幹事 明神 謙三

須崎RCは創立45年を迎えましたが、会員数14名と激減しており会員増強が課題となっております。奉仕活動としては須崎RC杯少年野球大会や、遍路小屋清掃などで、地域の子供たちや地域住民の方々と交流を深めながら、貢献しています。



随行者コメント

清流・仁淀川を望む風光明媚な亀の井ホテル高知を会場に、仁淀RCと須崎RCの合同例会が開催され、森雄司ガバナーの公式訪問に随行させていただきました。

仁淀RCは、地元・仁淀川環境保全活動をはじめ、「鮎の会」や仁淀川に関わる観光行事への参画など、地域の豊かな自然や文化に根差した奉仕活動を継続しておられます。

須崎RCは、地域の遍路小屋の清掃や須崎の史跡・観光案内看板の設置など、地域社会に寄り添った奉仕活動に加え、少年野球大会の開催など、次世代を担う青少年の健全育成にも力を注いでおられます。

両クラブとも新年度スタート時の会員数は14名と少人数ではありますが、その分、会員一人ひとりがクラブ運営を支え、力を合わせて活動されている姿が大変印象的でした。また、共通の最重点課題として会員増強に真摯に取り組まれている現状についてもお話を伺いました。

そのような中、須崎RCでは新年度早々に3名の新会員を迎えられたとのこと。クラブの魅力を地域へ発信し、会員一丸となって増強活動に取り組まれた成果であり、大変心強く感じました。

今回の公式訪問を通じて、それぞれのクラブが培ってこられた歴史や文化、地域性を生かした奉仕活動、そしてクラブ運営の工夫に触れることができ、大変有意義な機会となりました。

今後も各クラブで学ばせていただいたことを地区活動や自クラブの発展に生かし、ロータリーのさらなる魅力と価値の向上につなげてまいりたいと思います。

随行者：森澤 慶一(松山南RC)



ガバナー公式訪問報告

GOVERNOR OFFICIAL VISIT REPORT

2026
7/31
[FRI]

高知西RC

三翠園

クラブ紹介 会長 奥村 恭明 幹事 塩田 誠人

我々高知西RCは、高知南RCをスポンサーとして1970年(昭和45年)9月27日に創立総会が開催され、会員22名で発足し、今年で56年目を迎えています。

「親睦の西」といわれる高知西RCの最大の魅力は「人との出会い」で、「利害関係を越えた信頼」が、このクラブにはあります。

そして以下のような事業を行っています。

- 我が高知西RCの40周年記念事業として始まり15年続いている環境保全「佐川町協働の森」事業。
- 2670地区長期交換小委員と短期交換小委員を選出し、他のRCの地区小委員と一緒にホストファミリーの安定的な確保と受入学生のアテンド、また送り出し学生の選定とフォロー。
- 青少年との交流を通じ、将来有望な人材育成に主眼を置いた活動の機会に参画するとともに、高知学芸中学高等学校インターアクトクラブを支援していく事業。



随行者コメント

高知西RCは1970年(昭和45年)創立で今年56周年を迎えられます。スポンサークラブは高知南RC。アディショナルクラブは須崎RC、仁淀RC、高知ロイヤルRCで各クラブとの関係も深く、毎年9月に開催される仁淀RC様の事業「鮎の会」には今年は30名もの会員で参加されとの事でした。

会員数は69名と多く、会員増強・活性化にも積極的に取り組まれています。中でも退会防止に強く力を注がれています。退会者の多いクラブに入りたい方がいるわけもなく、「参加したい会」であるべきであり「会が面白ければ参加者は増えるはずだ。」「増やすより、増えていくクラブを目指します。」という奥村会長のお話が印象的でした。

例会での笑顔と拍手のお出迎えは、歓迎ムード溢れる雰囲気の中で感激いたしました。新会員の方の乾杯！から始まった食事とも和気あいあいとしたものでした。また、森ガバナーのお話を皆さんが熱心に聞いてくださりました。皆様の笑顔に、心より感謝申し上げます。

随行者：
加藤 秀章(松山南RC)

2026
8/4
[TUE]

高知ロイヤルRC

高知プリンスホテル

クラブ紹介 会長 大前 昭浩 幹事 兵等 弥生

我が高知ロイヤルRCは、高知西RCをスポンサークラブとし、2003年に発足。高知県内のRCでは一番新しく、今期で24年目を迎えます。会員数は23名。年齢は40歳代から70歳代で構成されています。少人数ながら地区委員等にも就任し、ロータリー活動に励んでいます。会員の団結力は強く、社会奉仕活動やスポーツイベント、ゴルフ、親睦会など、多数企画し、参加しています。会員同士の距離感が近く、楽しくロータリー活動ができているクラブです。

随行者コメント

8月4日、高知ロイヤルRCのガバナー公式訪問例会に、森ガバナー・加藤地区代表幹事とともに随行しました。

同クラブは、BMX練習場整備をはじめ、こども食堂支援や河川清掃、インターアクト支援など地域に根差した奉仕活動を積極的に展開されています。一方で会員増強や親睦強化、出席率向上を目標に掲げ、夜間例会や職場訪問例会など様々な工夫にも取り組まれています。

初めての随行で他クラブの運営や課題を直接学ぶ貴重な機会となり、松山RCでも活かせる点を多く感じました。また、同クラブがクラブ優秀賞受賞を目指す姿勢に刺激を受け、松山RCでも挑戦したいと思いました。

執筆・随行者：佐々木 淳(松山RC)
随行者：加藤 秀章(松山南RC)





ガバナー公式訪問報告

GOVERNOR OFFICIAL VISIT REPORT

2026
8/5
[WED]

中村RC

📍 新ロイヤルホテル四万十

クラブ紹介 会長 福原 紀夫 幹事 星野 努

会員数60名(女性会員7名)。野球部を有し、選抜野球大会優勝の実績があります。若手会員にはサブ会員制度を設け、野球活動を通じた交流も推進。

四万十川の美化ゾーン例会による環境保全活動をはじめ、福祉施設訪問や少年サッカー支援など、地域に根ざした奉仕活動を積極的に展開しています。



随行者コメント

中村RCは1963年(昭和38年)創立で今年64周年を迎えられる歴史と伝統のあるクラブです。四万十川流域を活動の舞台として環境保全や青少年育成など地域に根差した奉仕活動を継続されています。中でも会員増強に積極的で地区内各クラブが苦心している中であっても、ここ数年着実に会員数を増加させておられます。その秘訣をお伺いしたところ「まめに声をかけることですかね。」と日々の活動の大切さを語られていました。

また、クラブの強みである野球をはじめとした親睦活動も活発で8月入会予定の新会員の方も野球をされる若い会員さんとの事でした。私の所属する松山南RCとの野球を通じての親交は深く、ガバナー杯、そしてロータリー100年を記念して始まったグレン&千杯・田中作次旗野球大会(全国選抜野球大会)ではライバルとして毎年激闘を繰り広げる仲間でもあります。若手新会員の加入は私達にとりましては脅威であります(笑)

会長挨拶の中で「今日は何の日?」「今日の花」のコーナーはとても印象的でした。

執筆・随行：尾山 勇(松山南RC)

随行：加藤 秀章(松山南RC)

2026
8/6
[THU]

宿毛RC

📍 宿毛商工会議所

クラブ紹介 会長 有田 裕彦 幹事 長山 千登勢

ロータリーの森は継続して年間を通し草刈りを行い小学6年生を対象にタイムカプセル事業を行っております。20歳の成人式に掘り起しをしています。

補助金事業は昨年度から少年少女スポーツ支援を行い今年度はレスリングと柔道の大会運営補助を行う予定です。

宿毛工業高校とインターアクトクラブ設立も進めています。



随行者コメント

宿毛RCは、高知県のクラブとしては最後の公式訪問のクラブでした。有田会長、保田副会長、長山幹事、一藤ガバナー補佐と和やかな雰囲気では会長幹事懇談会が行われました。現在の会員数は18名でうち女性会員は1名ですが、来月には女性会員1名の復帰が叶いそうです。宿毛市の人口減少とともに会員もかなり減少傾向ですが、会長は「アクティブパーティンペーションからインパクトを生み出す」を方針に掲げられ、少人数だからこそ一人一人がより大きな役割を担い自分の力をしっかりと発揮して積極的に貢献できると、「小ささ」は逆に私たちの強みであると話されました。

また、少年・少女へのスポーツ支援事業、ロータリーの森(大島桜公園)の植樹と整備ならびに小学校6年生によるタイムカプセル埋設事業など地域に密着した事業を展開されています。

本年特筆すべきことは、小松市と宿毛市との交流の縁で生まれた宿毛工業高校インターアクトクラブの設立です。9月には設立予定です。

例会の運営も、さすがに2度目の会長経験者の有田会長のもと、安定した笑顔の多い例会でした。いろいろとご配慮ありがとうございました。

随行：塩出 卓一(松山南RC)



高知県知事 表敬訪問

国際ロータリー第2670地区
2026-2027年度 代表幹事 **加藤 秀章** (松山南RC)

高知県知事 濱田省司様を表敬訪問いたしました。
森雄司ガバナー、稲田良吉高知第Ⅰ分区ガバナー補佐、一藤勝之高知第Ⅱ分区ガバナー補佐、地区代表幹事加藤秀章の4名にて訪問させていただきました。

挨拶のあと、国際ロータリー第2670地区の活動のご報告をさせていただきました。

ロータリーの活動についてもご理解いただいております、昨年織田ガバナーが訪問された時の事等もお話していただきました。今後ともよろしくお願いいたします。





委員会だより

MONTHLY REPORT



第4回 長期交換受入学生オリエンテーション・派遣学生帰国報告会に参加して

国際奉仕委員会 長期交換小委員会 委員 宝田 伸介 (観音寺RC)

7月18日(土)・19日(日)の2日間、2026-2027年度国際ロータリー第2670地区「第4回受入学生オリエンテーション・派遣学生帰国報告会」が開催されました。

今回帰国報告を行ったのは、7月2日に帰国した村瀬陽君と、7月10日に帰国した久保心やささんのお二人です。なお、本年1月6日にオーストラリアから来日した受入学生のりりーさんは、体調不良のため残念ながら欠席となりました。

出席者は、瀬野委員長、南委員、山口委員、石川委員、七條委員、そして私、宝田です。

18日は、北川村「モネの庭」マルモッタンを訪れ、モネが愛したフランス・ジヴェルニーの庭をモデルにした美しい庭園を



見学しました。色鮮やかな睡蓮や水面に映る景色、太鼓橋、藤棚などを鑑賞し、豊かな自然と芸術に触れるひとときとなりました。



その後、中岡慎太郎館で高知の歴史を学び、内原野陶芸館では陶芸の手びねり体験を行いました。夕方には南国市のサザンシティホテルへ移動し、帰国学生の報告を聞きながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

19日の帰国報告会には、森ガバナー、織田直前ガバナー、前田直前地区副代表幹事、篠田委員長にもご出席いただきました。帰国学生のお二人は、それぞれ一年間の交換を通じて得た経験や学びを堂々と発表され、その姿からは大きな成長と自信が感じられました。高校生とは思えないほど立派な報告に、出席者一同、大変感銘を受けました。

交換学生の帰国報告を聞くたびに、この事業が学生一人ひとりの人生に大きな影響を与え、国際理解や友情を育む貴重な機会であることを改めて実感します。これこそがロータリー青少年交換事業、そして国際奉仕の大きな魅力で



あると感じています。

意見交換では、この伝統ある交換学生事業を将来にわたり継続していくための課題についても活発な議論が行われました。特に、ホストファミリーの確保や、事業の意義をより多くの会員に理解していただくための情報発信の重要性について、多くの意見が交わされました。予定時間を1時間ほど超えるほど熱心な議論となり、参加者全員のこの事業に対する強い思いが感じられました。

青少年交換事業の価値や魅力は、実際に関わることで初めて実感できる部分も少なくありません。今回の帰国報告会で得た感動と学びを、一人でも多くのロータリー会員の皆様と共有し、この事業への理解と協力の輪がさらに広がることが願っています。

今後とも青少年交換事業をはじめとする国際奉仕活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





短期交換愛媛受入報告／ フェアウェルパーティー開催報告

国際奉仕委員会
短期交換小委員会 委員長 菅 博樹 (西条RC)

〈2026-2027年度 短期交換事業(第7475地区受入)〉

- 日程：2026年7月2日(木)～7月22日(水)
- 受入：リーダー2名、生徒9名
- 愛媛滞在：7月17日(金)～7月22日(水)
- フェアウェルパーティー：7月21日(火) ANAクラウンプラザホテル松山

国際ロータリー第7475地区(米国ニュージャージー州北部)との青少年短期交換プログラムにより、今年度は7月2日(木)から7月22日(水)までの21日間、リーダー2名、生徒9名を日本にお迎えいたしました。

一行は羽田空港到着後、京都・奈良を観光し、徳島・高知・香川の各地でホームステイを重ねながら日本各地の文化に触れました。7月16日には瀬戸内海を渡って宮島を訪問し、翌17日にはしまなみ海道を経由して愛媛へ入り、松山中央公園にてホストファミリーとの対面を果たしました。

愛媛では7月17日から21日までの5日間、各ホストファミリー宅にてホームステイを行い、学生たちは家庭料理や日本の暮らしを体験するとともに、地域の皆様との温かい交流を深めました。

7月21日(火)には、ANAクラウンプラザホテル松山にて「フェアウェルパーティー」を開催いたしました。開会は松山東雲中学・高等学校ハンドベル部の

演奏で幕を開け、愛媛第I分区ガバナー補佐 高橋圭三様のご挨拶に続き、第2670地区ガバナー 森雄司様、第7475地区チームリーダーのスティーブ・シャノン様、アイリーン・オショーンネシー様よりご挨拶を頂戴いたしました。乾杯はパストガバナー 大島浩輔様の発声により行われました。

余興では、道後湯之町検番による芸妓の伝統舞踊、ハンドベル部による演奏に加え、河内広志様による餅まきが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。特に、ハンドベル部とインバウンド学生たちによる共同演奏は、和やかで見ている側もあたたかい気持ちになりました。





した。また、第7475地区チームメンバーによるアトラクションのほか、派遣リーダー・上甲泰様より派遣学生の紹介があり、来る8月からの第7475地区への派遣に向けて、参加者一同の期待が高まるひとときとなりました。

記念品贈呈は第2670地区国際奉仕委員長 篠田日出海様が務められ、愛媛県今治市で有名な今治タオルを1人1人にお渡ししていただきました。その後、第2670地区短期交換委員長である私より挨拶を申し上げました。閉会の辞は愛媛第Ⅱ分区ガバナー補佐 寺田太郎様をお願いし、最後は参加者全員でロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し、和やかな雰囲気の中にパーティーの幕を閉じました。

翌7月22日(水)、学生たちは名残を惜しむホストファミリーに見送られながら松山空港を出発し、羽田空港での乗り継ぎを経て帰国の途につきました。

今回のプログラムを通じて、学生たちにとって日本での体験がかけがえのない思い出になったことと存じ

ます。この場をお借りして、受入にご尽力いただいたホストファミリーの皆様をはじめ、関係の皆様にご心より御礼申し上げます。

ホストファミリーの方々からは、また来年のホストファミリーも楽しみにしておりますといった嬉しいお言葉や、学生との交流を通して強い絆を感じることができ、異文化について多くのことを学ぶことができましたといった感想をいただきました。

この出会いが、学生たちにとってもホストファミリーにとっても一生の宝物になってくれる事を願っております。





委員会だより

MONTHLY REPORT

NJ州のロータリアンより届いた、
短期交換派遣学生たちへの心温まるメッセージ国際奉仕委員会 菅 博樹 (西条RC)
短期交換小委員会 委員長

現在、第2670地区の短期青少年交換プログラムにより、3名のリーダー、アシスタントリーダーと共に20名の生徒たちが米国ニュージャージー州(地区7475)に派遣され、現地の家庭に滞在しながら学びと交流の日々を過ごしています。地区7475と第2670地区の間で続くこの交換プログラムは、今年で48年目を迎える歴史あるものです。

このたび、日頃からロータリーのFacebookページに多くの写真や記事を寄稿してくださっているNJ州在住のロータリアンが、現地を訪れている派遣学生たちの様子について、心のこもった投稿を寄せてくださいました。8月10日、生徒たちはニューヨークの国連本部とニューヨーク近代美術館(MoMA)を訪問し、その日の出来事が綴られています。以下、投稿の原文と日本語訳をご紹介します。

【原文】

Young Minds. Global Connections.
Today was one of those Rotary Youth Exchange days that reminds us why this program matters.
Our visiting students from Japan spent August 10 experiencing two remarkable places in New York City-the United Nations and The Museum of Modern Art.
At the United Nations, they entered a place built around cooperation, dialogue, peace, and international understanding.
Then came MoMA, where art offered another way to experience different cultures, ideas, and ways of seeing the world.
Two very different places.
One powerful lesson:
The more we understand one another, the smaller the world becomes.
These 20 students are visiting New Jersey as part of the 48th year of the Rotary Youth Exchange partnership between District 7475 and Japan's District 2670.
But this exchange is about much more than the places they visit.
It is about the families opening their homes.
The Rotarians giving their time.
The conversations happening around dinner tables.
The friendships growing between young people from different parts of the world.
And the memories they will carry home.
For nearly five decades, this program has helped young people discover something Rotary has always understood: You do not build peace by staying separated from one another.
You build it by meeting.
Listening.
Learning.
Sharing.
And sometimes simply spending a day together seeing the world through new eyes.
Today, that happened at the United Nations and MoMA.
Tomorrow, the journey continues.
Every Club Has a Story. Every Story Creates Lasting Impact.

【日本語訳】

若き心、世界とのつながり。
今日は、ロータリー青少年交換プログラムの意義を改めて実感させられる一日となりました。
日本から訪れた学生たちは8月10日、ニューヨーク市にある二つの素晴らしい場所、国連本部とニューヨーク近代美術館(MoMA)を訪問しました。
国連本部では、協力、対話、平和、そして国際理解を基盤として築かれた場所を訪れました。
続いて訪れたMoMAでは、芸術を通じて、異なる文化や思想、そして世界を見る新たな視点に触れる体験をしました。
全く異なる二つの場所。
しかし、そこから得られる力強い教訓は一つです。
互いを理解すればするほど、世界は身近なものになる、ということです。
この20名の学生たちは、ロータリーの第7475地区(米国)と第2670地区(日本)の間で48年間にわたり続く青少年交換プログラムの一環として、ニュージャージー州を訪問しています。
しかし、この交流プログラムの価値は、単に訪問先そのものにあるわけではありません。
それは、自宅を快く開放してくれるホストファミリーの存在であり、自身の時間を捧げるロータリアンたちの活動であり、夕食のテーブルを囲んで交わされる会話であり、世界の異なる地域から集まった若者たちの間に育まれる友情であり、そして、彼らが故郷へと持ち帰る数々の思い出なのです。
このプログラムは半世紀近くにわたり、若者たちがロータリーの理念を自ら発見する手助けをしてきました。
平和とは、互いに隔絶したまま築かれるものではありません。
出会い、
耳を傾け、
学び、
分かち合い、
そして時には、ただ共に一日を過ごし、新たな視点で世界を見つめることによって築かれるものなのです。
今日、国連本部とMoMAで、まさにそのような体験がなされました。
そして明日もまた、旅は続いていきます。



遠く離れた地から、派遣学生たちの様子をこのように温かく見守り、発信してくださるNJ州のロータリアンの皆様、そして生徒たちを家族として迎え入れてくださっているホストファミリーの皆様に、第2670地区として心より感謝申し上げます。

48年にわたり受け継がれてきたこの青少年交換プログラムは、ロータリアンお一人お一人の献身と、生徒たちの勇気ある一歩によって支えられています。第2670地区は、これからも国際理解と友情を育むこの取り組みを大切にし、若者たちの成長を応援してまいります。



委員会だより

MONTHLY REPORT

2026
8/1
[SAT]

2026-2027年度 香川分区 米山奨学生卓話研修会を開催して

米山記念奨学委員会 委員 岡 千枝 (丸亀東RC)

令和8年8月1日(土)12時30分から15時30分まで、ホテルマリンパレスさぬきにおいて、「2026-2027年度 香川分区 米山奨学生卓話研修会」が開催されました。開会にあたり、岡千枝委員(丸亀東RC)から本研修会の趣旨と米山奨学生への期待についてお話をしました。米山記念奨学事業を通して築いた日本とのつながりを大切に、将来、母国と日本との懸け橋となって、末永く日本との関わりを持ち続けていただきたいとの願いを述べました。

続いて、森和夫委員(高松東RC)が司会進行を務め、各奨学生の発表を温かく見守りながら、一人ひとりに評価と具体的なアドバイスを伝え、研修会を円滑に進めてくださいました。その後、7名のカウンセラーによる所感に続き、7名の米山奨学生がそれぞれ20分程度の卓話を発表しました。

今回、特に印象に残ったのは、複数の奨学生から「米山奨学生となり、奨学金をいただいたことで、アルバイトをせずに学業・研究に集中することができた」との言葉が聞かれたことです。米山奨学金が、奨学生の学業や研究に専念できる環境を支え、それぞれが将来の夢や目標に向かって努力するための大きな力となっていることを、改めて実感しました。

最後に講評として、葛石智委員(善通寺RC)から、実際に7名の卓話を聞いた上で、より分かりやすく、聞く人の心に残る卓話とするためのポイントについて、具体的なアドバイスがありました。特に、①自己紹介、②大学での勉強の

成果や評価、③日本にきた動機、④現在の研究、⑤ロータリーとの関わり方、の五つの項目を意識して発表することが大切であるとの説明がありました。

自己紹介では、出身国やこれまでの経験を簡潔に伝えること、大学での勉強や研究については、専門的な内容だけでなく、その成果や評価についても、聞き手に分かりやすく伝えることが重要です。また、日本にきた動機や現在取り組んでいる研究についても、自分自身の言葉で思いや考えを伝えることで、会員の皆さんの関心をより深める卓話になるとの助言がありました。

今回の研修会は、奨学生の皆さんにとって、自身の経験や研究、そして日本との関わりについて改めて考える貴重な機会となりました。米山記念奨学事業を通じて育まれた友情と絆がこれからも続き、奨学生の皆さんが将来、世界と日本、そして母国と日本をつなぐ懸け橋として活躍されることを心より願っています。



① 宋 多寅 さん (徳島文理大学・韓国)

所感 / カウンセラー 白井 克彦 様 (高松南RC)

② 継続奨学生 白 峻煥 さん (徳島文理大学・韓国)

所感 / カウンセラー 兼岡 誠 様 (善通寺RC)

③ 張 靖沢 さん (香川大学・中国)

所感 / カウンセラー 秋山 恒嘉 様 (丸亀RC)

④ トボウーン タイパックさん (香川大学・タイ)

所感 / カウンセラー代理 安藤 慎男 様 (高松中央RC)

⑤ 廖 璿穎 さん (香川大学・台湾)

所感 / カウンセラー代理 平田真由美 様 (高松グリーンRC)

⑥ ニョ ハオシン さん (香川大学・マレーシア)

所感 / カウンセラー 高橋 佑輝 様 (高松東RC)

⑦ ゲエン, リエン チャン タン さん (高松大学・ベトナム)

所感 / カウンセラー 小原 康弘 様 (高松RC)



委員会だより

MONTHLY REPORT



インターアクトクラブ年次大会 開催報告

青少年奉仕委員会 インターアクト小委員会 委員 大井 智 靖 (仁淀RC)
大会実行委員長

1. 開催概要

日 程：2026年8月1日(土)～2日(日)
会 場：明徳義塾中学高等学校竜国際キャンパス、
土佐和紙工芸村クラウド
テーマ：「伝統・伝承を知る。」
主 催：明徳義塾中学高等学校IAC、仁淀ロータリー
ークラブ



2. 参加者

インターアクトクラブ会員84名、ロータリアン59名

3. 主なプログラム

1日目は開会式の後、和太鼓体験、クイズ大会、しばてん踊り体験を実施し、夕食・宿泊を行った。

2日目は土佐和紙製作体験(紙すき体験)を行い、閉会式において謝辞、総評、次年度ホスト校挨拶等を実施した。



4. 成果

- ・和太鼓・土佐和紙の体験により、地域文化への理解と愛着を深めた。
- ・他校生徒との協働を通じ、交流・協調性を高めた。
- ・ロータリアンとの交流により、奉仕の精神を学ぶ機会となった。



5. 運営・安全対策

体調不良・アレルギー・熱中症への事前対応、移動・宿泊・緊急連絡体制を整備した。



6. 結び

本大会の開催にご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。



クラブだより

松山RC

MONTHLY REPORT

2026
7/25
[SAT]

松山近隣ロータリークラブ合同例会

松山RC 会長 石橋 和典

令和8年7月25日、大安吉日に松山近隣クラブ合同例会を開催しました。

当クラブが10年振りにホストクラブを務め、森ガバナーをはじめ多くのロータリアンにご参加いただき盛大に開催できましたことを厚く御礼申し上げます。

新年度早々に森ガバナーのご就任をお祝いできましたことは、地元愛媛第Ⅱ分区にとりましてこの上ない喜びでございます。

懇親会もピアノ演奏や予定外の歌、手品などで大いに盛り上がり、さらに予定外の記念撮影を行うなど、楽しいひとときとなりました。

松山近隣ロータリークラブが一丸となり、力を合わせて森ガバナーを応援しましょう！



卓話では、日本人形文化研究所の林直輝所長(「開運!なんでも鑑定団」日本人形鑑定士)をお迎えし、「素晴らしい日本人形の世界」と題して、日本の誇る文化について意義深いお話をいただきました。





7月度 出席報告

区分	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比増減	7月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区	徳島	92.00	81	2	5	5
	徳島東	69.36	54	0	5	4
	徳島北	75.95	29	0	6	3
	徳島プリンス	89.67	68	4	15	4
	阿南	64.58	52	2	4	4
	阿南南	77.22	48	3	1	4
	小松島	86.67	15	1	0	5
	小松島南	51.39	18	0	1	4
	阿南中央	53.85	15	0	3	3
	徳島眉山	53.85	9	1	0	3
10RC						
徳島第Ⅱ分区	阿波池田	52.89	41	1	1	3
	御所	88.72	27	0	4	5
	鴨島	90.54	42	0	4	4
	鳴門	65.52	49	1	4	3
	鳴門中央	85.12	32	0	2	4
	徳島中央	83.33	22	0	4	3
	徳島南	64.26	47	1	7	5
	徳島西	65.44	34	0	5	4
	脇町	78.38	37	0	2	5
	阿波徳島	51.11	11	0	0	4
11RC						
美馬		43.75	32	0	7	4

区分	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比増減	7月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区	さぬき	60.94	17	0	0	4
	東かがわ	90.91	24	0	3	3
	小豆島	94.87	26	0	2	3
	高松	100.00	83	0	11	5
	高松中央	85.71	31	0	0	3
	高松グリーン	87.50	38	0	6	3
	高松東	100.00	40	0	4	3
	高松北	84.82	80	0	8	3
	高松西	79.83	43	1	3	3
	高松南	64.33	57	0	3	3
10RC						
香川第Ⅱ分区	観音寺	91.98	41	0	3	4
	観音寺東	86.96	24	0	3	3
	琴平	86.11	12	1	1	3
	丸亀	75.83	42	1	3	3
	丸亀東	55.93	45	3	4	4
	坂出	95.50	37	0	2	3
	坂出東	69.29	64	1	11	4
	善通寺	81.17	42	1	2	4
8RC						

区分	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比増減	7月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区	安芸	89.01	20	0	3	5
	中芸	91.67	12	0	1	3
	香長	75.86	10	0	0	3
	高知中央	80.00	46	0	2	4
	高知東	100.00	47	1	7	4
	高知南	86.19	80	0	14	5
	高知ロイヤル	74.24	23	2	3	3
7RC						
高知第Ⅱ分区	高知	85.96	81	2	10	3
	高知西	79.78	69	1	4	4
	高知北	77.14	38	1	4	3
	中村	81.44	60	-1	7	4
	仁淀	74.36	14	0	2	3
	宿毛	54.17	18	0	1	3
	須崎	54.35	16	1	1	3
7RC						

区分	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比増減	7月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区	今治	89.50	50	0	2	4
	今治北	84.62	17	-1	1	3
	今治南	100.00	68	1	2	4
	伊予三島	91.41	31	-1	1	4
	川之江	96.21	44	0	0	3
	新居浜	90.52	60	-1	3	4
	新居浜南	85.71	14	0	1	2
	西条	89.32	28	0	0	4
	東予	98.33	20	0	2	3
9RC						
愛媛第Ⅱ分区	伊予	73.44	32	0	2	4
	道後	85.14	25	0	1	3
	松山	79.11	69	4	9	4
	松山東	60.71	19	0	0	3
	松山北	86.73	33	1	2	3
	松山南	88.94	50	1	6	4
	松山西	86.44	21	1	2	3
	大洲	82.76	30	0	5	3
	宇和島	76.67	15	0	1	2
10RC						
八幡浜		82.14	20	0	1	3

	出席率 (%)	7月末 会員数	首比増減	7月末 女性会員数
72RC合計	79.27	2,689	36	249

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



阿部 榮次
徳島南RC



本田 常晴
中村RC



塩出 卓一
松山南RC

米山功労者 メジャードナー



山崎 啓輔
高知西RC

マルチプル 米山功労者



塩出 卓一
松山南RC

米山功労者



前田 仁志
徳島南RC

Rotary International District 2670

Information

ガバナー事務所から情報配信いたします

是非、ご登録いただきますようお願いいたします。



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。

ガバナー事務所のHPで月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<https://www.rid2670.jp>



記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。

日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

宛先



info2627@rid2670.jp

締切

毎月15日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

受賞者紹介について

所定のExcelファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。



四つ葉のクローバーの 見つけ方

みなさん、四つ葉のクローバーの見つけ方を知っていますか？

四つ葉のクローバーを探す時、ほとんどの方は『あれば良いな』『なかなか見つからないよね』『見つけれたら奇跡みたいなものだよね』と、思いながら探される方が多いと思います。

では、見つけ方を教えます(^^)v

『この中に必ず四つ葉のクローバーがあるので、それを探す！』『そこにあるものを探すので見つけるのは簡単♪。』と、思って探すとかかなりの確率で見つかります♪

皆さん是非、そこにある幸運(四つ葉のクローバー)を見つけてみてください♪



2026-2027年度
国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info2627@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：加藤 秀章／担当幹事：井関 圭太郎

〒791-8018 愛媛県松山市問屋町9-39 BSMTc TEL : 090-3135-2670 FAX : 089-922-7868